

町民憲章

- 美しい自然に恵まれたまち徳地を守りましょう
- 健康で明るくたくましいまち徳地を育てましょう
- 勤労を尊び活気のあるまち徳地を伸ばしましょう
- 伝統と文化のかおるまち徳地を高めましょう
- きまりを守り人の和^{なご}むまち徳地を築きましょう



徳地和紙で工芸品作り

3月6日、柚野公民館に婦人と子供約30人が参加して、町の特産品として有名な徳地和紙を使っての和紙講座が開かれました。この和紙講座は柚野婦人会の主催で、講師に富永嘉子さん（山口市）と伊藤文子さん（横山）を招いて、和紙の染色から作品（ちょうちよ）までの指導を受けました。また、この日は、徳地和紙で作った人形なども展示され、参加した人たちも、和紙のもつ美しさにあらためて感動したようでした。

主な内容

- 234…井上町長の所信表明・58年度の施策と予算の概要
- 5…4月24日は町議会議員選挙の投票日です
- 67…スポーツの殿堂町民体育館が完成（写真紹介）
- 8…昭和57年度へき地集合学習、大きな成果をあげて終了（学校教育だより）
- 9…写真だより
- 10…徳地町近郊小学生女子バレーボール大会（社会教育だより）・行政相談員・人権擁護委員の紹介
- 11…楽しくできる運動の習慣を・国保一口メモ
- 121314…お知らせ・文芸など

井上町長の所信表明

定住促進対策事業でほ場整備を実施

一般会計29億4千万円に

昭和五十八年三月十一日招集された徳地町議会第一回定例会議で井上町長は「財政規模全体に厳しい対応を迫られている中で、町政担当三年目を迎え、常に公正、清新な町政の推進を基本姿勢として、町民の幸を高めることに努力を続けてきたが、新年度はさらに効率的、合理的な行財政の運営に努め、土地基盤整備、ほ場整備、指定金融機関の導入、保健予防の徹底、教育環境の改善等々、町政の発展と住民福祉の向上を目指す諸施策を講じていく」との所信を明らかにし、新年度の施策について要旨次のように述べました。

本年は、昭和四十八年に発生いたしましたオイルショック以来ちよど十年目となります。この間、日本の経済は、石油をはじめとするエネルギー事情の変化による低成長経済の定着化、国、地方を通じる収支の伸びの鈍化のため、財政収支の不均衡など、高度成長の時期とは全く違った状況となつて



▲所信表明をする井上町長

きておりますが、この傾向は、近年一層厳しさを増すばかりであります。昭和五十八年度国の一般会計予算案は、伸率わずか一・四パーセント、実質予算は今年度比三・一パーセント減という記録的な「超緊縮型」予算となつております。

こうした状況の中で迎えます新年度は、徳地町にとつても誠に厳しい試練の年となるものと考えられます。

すなわち、国の財政も予想を超える危機に直面しておりますので、公共投資の拡大などの財政による景気刺激策も不可能と考えられ、これに関連して町税の伸びは期待できなくなつており、また、最も重要な財源である地方交付税について、地方財政計画では史上初の四・九パーセント減となつておりまして、財政規模全体に厳しい対応を迫られております。

このような厳しい環境の中で、

私は町政担当三年目を迎えますが、常に公正、清新な町政の推進を基本姿勢といたしまして、町民の皆様様の幸を高めることを肝に銘じてまいりましたが、この間、終始議員各位をはじめ町民の皆様のご理解とご支援を賜り、町政においていささかの進展を見ましたことは、私の大きな喜びであり感激にたえないところであります。

いま新年度を迎えるにあたり、なお一層効率的、合理的な行財政運営に努めて、町政をさらに進展させ、全力を挙げてこの困難な時期を乗り越えたいと決意を致しております。

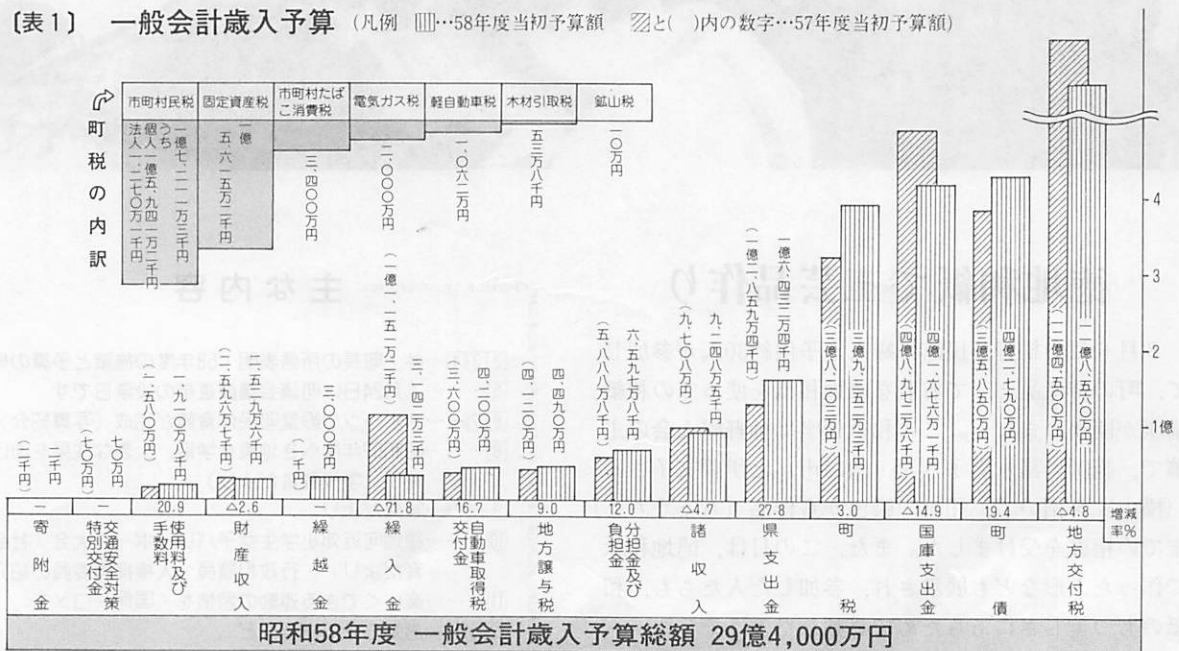
去る、五十六年十二月、町議会の議決を得まして策定しております徳地町基本構想に基づき、町の重点課題を選択し、着実かつ効果的に対処しなければと痛感しております。

昭和58年度の新たな施策

このような見地になつて、昭和五十八年度においては次のように新たな施策を推進してまいる所存であります。

産業の振興
農業におきましては価格政策から構造政策へと移行しつつある現

〔表1〕 一般会計歳入予算 (凡例 □□…58年度当初予算額 ▨()内の数字…57年度当初予算額)



昭和58年度 一般会計歳入予算総額 29億4,000万円

状からみて、長期展望にたち、水田利用再編対策を進めるとともに、土地改良事業(ほ場整備)などを積極的に導入し、土地基盤の整備を図りあわせて農地の流動化を促進することに、生産性の向上に資する考えであります。

林業につきましては新林業構造改善事業により、林道の改良、林業施設の整備を推進してまいります。

健康と福祉
 町民の健康増進を図るため、保健予防の徹底、健康管理の指導等を進めるとともに、社会福祉関係についても従来からの諸施策を推進し、温かい思いやりのある社会とするため、鋭意努力をしてまいります。

工関関係
 引き続き企業の誘致を進め雇用の機会の確保を図りたいと存じます。

生活環境の整備
 道路の整備、交通安全対策の推進、消防防災対策の充実など諸施策を展開してまいりたいと存じます。また、新規の住宅需要に対処し定住構想の確立に資するため、公営住宅の建設にも着手することとしております。

教育
 最近、中学生による非行が報道されているところでありますが、次代を担う青少年の健全育成については、学校教育のみならず家庭や社会全体の問題として考えていかなければなりません。

学校教育においては、教職員の資質の向上を図りもって児童の健

やかな成長を図るほか、今年度は八坂中学校危険校舎の改築をして、教育環境の改善に努める所存であります。

社会教育につきましては、従来よりの諸施策をさらに進めて、町民の連帯意識の向上に努めてまいりたいと存じます。

スポーツの振興については、町民体育館をはじめ昨年設置しております夜間照明施設や、すでに開放しております各学校施設を積極的に活用していただくことにより、町民の期待にこたえたいと存じます。

また、長者ヶ原に建設計画が進められている国立少年自然の家につきましても、引き続き県をはじめ関係機関に早期実現を働きかけるとともに、受け入れに万全を期したい所存であります。

庁内事務の合理化
 町の収納、支払の事務については、従来役場の窓口で取り扱ってきたところでありますが、県下各町村の対応も調査した結果、本町としても、この際指定金融機関制度を取り入れ、庁内事務の合理化を図るとともに、町民の利便も図りたいと考えております。

以上、五十八年度に取り組みます主な施策の概要について申し上げますが、これらの施策を推進するにあたりましては、広報の充実のほか、関係機関、団体等の意見を十分聞く一方、職員の資質向上、事務の合理化に努め、効率的な行政の運営に努める所存であります。

昭和58年度予算の概要

一般会計

一般会計の歳出の主な施策など別表②のとおりですが、厳しい財政環境の中で、町政の発展と住民福祉の向上を目指す施策を講ずるとともに、財政収支の均衡に十分配慮しております。

歳入では、地方財政計画をはじめ、従来の歳入実績を考慮し、今後の動向も検討したうえ、現時点ではそくし得た可能な限りの財源を計上したもので、別表①のとおりです。

町税は、前年度当初に比べ三パーセント増を見込んでおり、そのうち町民税個人分については若干の伸びをみておりますが、法人分についてはマイナスになるものと考えております。

固定資産税は、家屋について八・三パーセントの伸びを見込み、その他の町税についても、若干の伸びを計上しております。

使用料、手数料は、一部を町民に適正な負担をお願いし、二〇・九パーセント増、その他譲与税、自動車取得税交付金についても、若干の伸びを見込み、計上しております。

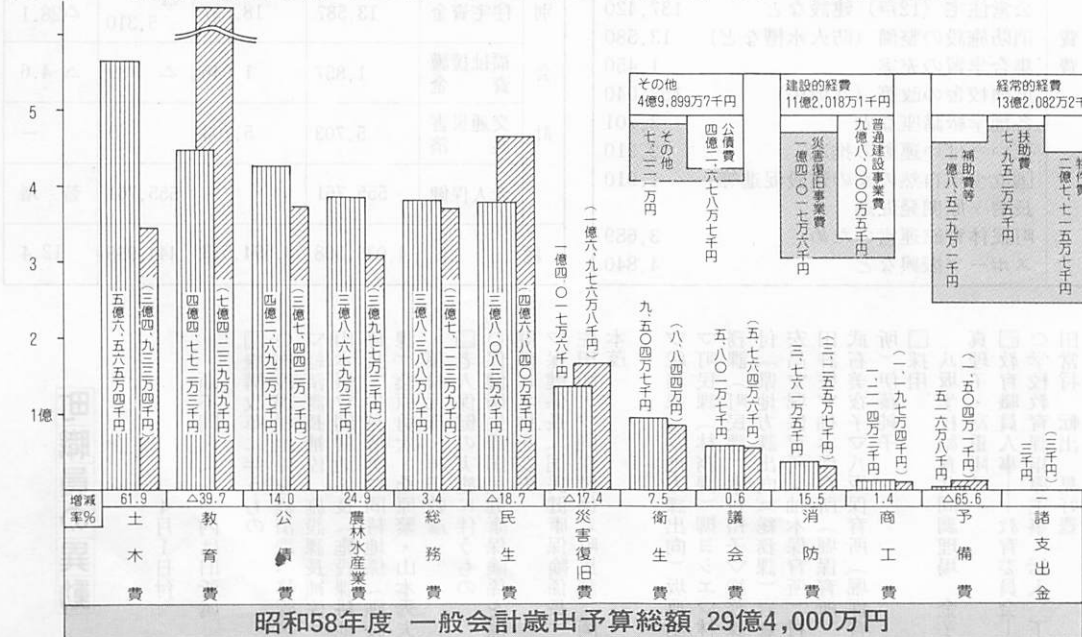
地方交付税は、四・八パーセント減、国庫支出金は、一四・九パーセントの減となっております。

町債は、既にかんりの累積債務

性質別歳出の内訳

その他 4億9,899万7千円 その他 7,222万5千円	建設的経費 11億2,018万1千円 公共債費 4億2,677万7千円 公債費 4億2,677万7千円	経常的経費 13億2,082万2千円 人件費 7億7,849万9千円 物件費 2億7,721万5千円 補助費等 7,952万5千円 補助費等 1億8,529万1千円
----------------------------------------	--------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

〔表2〕 一般会計歳出予算 (凡例 〇…58年度当初予算額 △…57年度当初予算額)



〔表3〕

昭和58年度一般会計予算でみる主な施策

費目	主な施策と経費(単位 千円)	
総務費	統一地方選挙・参議院議員選挙	7,872
	過疎代替バス運行	1,000
民生費	老人福祉(ゲートボール場の整備・老人家庭奉仕・友愛訪問など)	13,606
	同和対策事業(農林関係および施設整備など)	57,743
	児童および母子福祉(小規模児童遊園・母子医療助成など)	4,485
衛生費	疾病の早期発見, 早期治療を主眼とした各種検診事業	9,994
	地域保健対策	12,447
	老人保健事業	7,961
	廃棄物, ゴミ収集処理などのため	32,790
農林水産業費	特産物等の生産奨励など農業の振興	10,345
	獣医師確保および畜産奨励	5,953
	土地改良事業(団体営・単県)など	43,758
	農村地域整備開発促進事業	6,871
	ほ場整備(島地下津屋地区)など, 定住促進対策事業	30,100
	水田利用再編対策	3,375
	造林等保育事業(まつくい虫駆除など)	100,837
	新林業構造改善事業(特用林産物生産施設整備など)	64,012
商工費	町内の商工業の振興のための補助(町民のつとめ祭・朝市など)	6,370
	企業誘致促進のため	1,990
土木費	町道の改良舗装	329,094
	公営住宅(12戸)建設など	137,420
消防費	消防施設の整備(防火水槽など)	13,580
教育費	集合学習の充実	1,450
	危険校舎の改築(八坂中)	152,040
	各種学級講座など	3,701
	花いっぱい運動の推進	2,210
	国立少年自然の家の建設促進等	1,910
	長者ヶ原開発促進	
	町民体育館運営のため	3,689
	スポーツ振興など	4,840

国民健康保険については、新年度医療費の動向の推計が困難ですが、過去の経緯等を考え、医療給付費の一〇パーセント上昇を見込

特別会計の概要

予算総額についてみますと、昭和五十七年度に比べ一・七パーセント減となりますが、老人保健が特別会計となりましたので、実質的には若干の伸びとなります。

国民健康保険については、新年度医療費の動向の推計が困難ですが、過去の経緯等を考え、医療給付費の一〇パーセント上昇を見込んでおります。一方、財源となる保険税については、自然増が見込まれないため、税率を平均五・六パーセント引き上げることとし、なお不足する財源については、保険事業基金の取り崩しと、一般会計からの繰入金により補うこととしております。そのほか特別会計については、別表のとおりですが、本年二月一日からスタートした老人保健法に基づいて、新たに老人保健が加えられております。



〔表4〕

昭和58年度各会計別歳入歳出予算総括表

(単位 千円)

会計別	本年度予算額A	前年度予算額B	比較(A-B)C	増減率C/B%	
一般会計	2,940,000	2,991,000	△51,000	△1.7	
特別会計	国保事業定	522,600	573,600	△51,000	△8.9
	国保直診定	-	3,367	△3,367	皆減
	住宅資金	13,587	18,897	△5,310	△28.1
	福祉援護資金	1,857	1,946	△89	△4.6
	交通災害済共	5,703	5,703	0	-
	老人保健	555,761	-	555,761	皆増
総計	4,039,508	3,594,513	444,995	12.4	

- ▽総務課(県地方課出向)坂典生
- ▽町民課(林務課)柳ヨシエ▽林務課(町民課)木村裕子▽総務課付(県地方課出向)総務課)岩倉宏昌▽堀保育所(苗木保育所)村田許枝▽苗木保育所(堀保育所)武石美夜子▽八坂保育所(堀保育所)伊藤純子
- 採用
- 八坂学校給食共同調理場 金子真理子 富重陽子
- 教育職員人事 教育委員会 下田常将 転出 見好豊
- 学校教育課指導主事 転入 下田常将 転出 見好豊
- 退職(3月31日付)
- 石田初枝(八坂学校給食共同調理場)▽弘中朝子(袖野小学校)▽大島まこと(堀中学校)

- 機構改革に伴うもの
- 施設課耕地係を経済課へ移管
- ▽経済課長補佐(施設課長補佐)山本悟▽同耕地係長(施設課耕地係長)牛見博美▽同耕地係(施設課)桑原勇次・桑原繁・山本秀夫・藤村元彦・神田敦彦
- 老人保健の実施に伴うもの
- 保健衛生課国民健康保険係を保健係に名称を変更
- ▽保健係長(国民健康保険係長)佐田順夫▽同保健係(町民課)岡本茂

町職員の異動

順不同・()内は旧所属

4月1日付

4月24日は

町議会議員選挙の投票日です

今年、統一地方選挙として、県議会議員選挙と町議会議員選挙があいついで行われます。

県議会議員選挙は、四月十日が投票日。徳地町議会議員選挙は、四月十七日告示で四月二十四日が投票日です。

私たちの代表を選ぶ大切な選挙です。一票をむだにしないためにも「選ぶ目・選ぶ耳・選ぶ心」を養いましょう。

町議会議員選挙のあらまし

選挙人名簿に登録される人

●昭和五十八年四月十五日現在に町内に住所を有する人。

●昭和五十八年四月二十四日現在で年齢が満二十年以上の日本国民であること。(昭和三十八年四月二十五日以前に生まれた人)

●住民票が作成された日から四月十五日まで引き続き三カ月以上徳地町の住民基本台帳に記録されている人。(昭和五十八年一月十五日までに手続きを終った人)

不在者投票ができます

四月十七日から四月二十三日までの間午前八時三十分から午後五時まで、本庁または各支所

で不在者投票をすることができません。ただし、各支所では徳地町で定められた勤務時間以外は不在者投票の事務は行いませんので、土曜日の午後または日曜日には、本庁までおいでください。

■不在者投票のできる人

不在者投票のできる人は、当日の当日、自ら投票所に行き投票できない見込みで、次のいずれかの理由に該当する人です。

- 自分の属する投票区域の区域外において職務または業務に従事すること。
- やむを得ない用務または事故のため、その属する投票区域のある市町村の区域外に旅行中または滞在中であること。
- 選挙人が病気、ケガ、妊娠、老衰、不具、若しくは産褥にあるため歩行が著しく困難な人。
- 郵便による不在者投票

身体に重度の障害のある人で郵便投票証明書の交付を受けている人は、郵便による不在者投票ができます。(請求はお早めに)

なお、不在者投票等の請求、その他選挙についての詳しいことは、徳地町選挙管理委員会へお尋ねください。(☎2-1111-11・有線2251・2355)

おでかけ前にはまず投票!

こんなこと あんなこと 法律で禁じられています



お葬式の香典・花輪や供花



団体旅行の寄付や差し入れ



お祭の寄付やお酒



結婚のお祝い金やお祝い品



出産・入学・卒業のお祝い品やお祝い金

贈らない・受取らない・求めない
きれいな選挙で明るいまちを



集会の飲食代



季節の贈り物

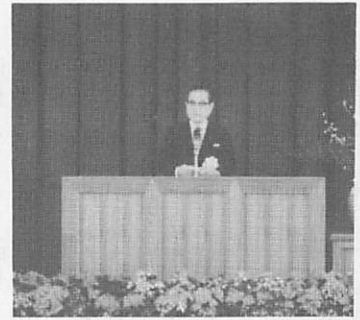


旅行の銭別



落成式や開店祝いの花輪

スポーツの殿堂 町民体育館が完成



▲井上町長の式辞

去る三月二十日、徳地町町民体育館が完成し、その落成記念式典が行われました。当日は、多数の来賓を迎えての式典が、午前中に挙行され、午後からは、町民約八百人が参加してこけら落としの行事がありました。

今号では、そのようすを写真で皆さんにご紹介しましょう。



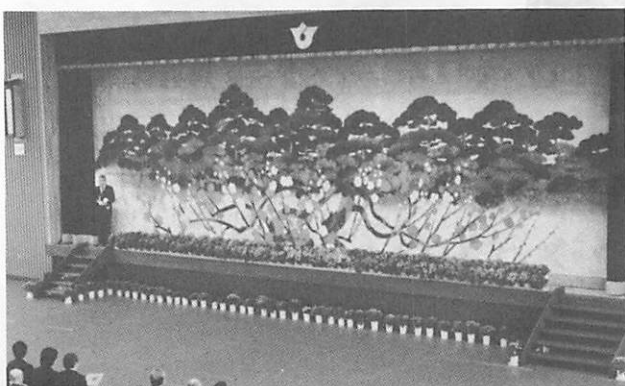
▲完成した町民体育館



▲盛大に挙行された式典



▲式典に参列されたみなさん



◀どんちよう披露

徳地町民の長年の念願でありました、町民体育館の落成を見ましたことは私どもはもとより、町民の限らない喜びであります。

今日のように、目まぐるしく変動する社会の中にあつて、真に豊かな住みよい環境と充実した日常生活への希求心を満たすことは、今日、将来を問わず地方行政においても、最も重要な課題であり、そうした中で町民の日常生活の一部分として定着しつつある体育、レクリエーションの

町民体育館完成記念
ごあいさつ

徳地町長 井上平司

レクリエーション活動を積極的に奨励してきました。幸いここ数年、社会体育活動も町民のご理解、ご協力のもとに幅広く浸透してきました。

シヨン等あらゆる面に幅広く利用され、その機能を最大限に發揮し、施設本来の目的を達成するよう念願してやみません。

果たす役割は、ますます重要さを増しつつあります。かねてから、私は町政運営の理念として、明るい健康な町づくりを目指し、町民のためのスポーツ

しかし、施設の面においては、なお不十分でありました。幸いにして国、県の力強いお力添えもあり、厳しい町財政の中ではありましたが、徳地町民のシンボルとしての体育館が見事完成したわけであります。

今後、この体育館がスポーツ分野、はもちろん、芸術、文化、レクリエーション



▲体育館設備の寄付目録の贈呈 ▲ 施工業者の方たちへ感謝状の贈呈



「この広い体育館で思いきり汗を流したい」と小学生を代表して作文の朗読をする
厚東千恵子さん(中央小六年)

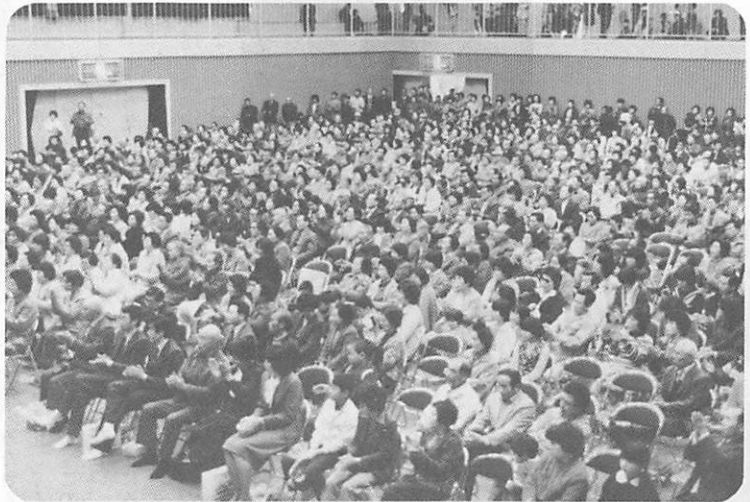


こけら落とし

▲ご祝儀三番叟と舞踊



「すばらしく立派な設備の体育館で、たくましい徳地っ子の精神を鍛えあげたい」と中学生を代表して作文の朗読をする
中村晃司くん(堀中二年)



▲こけら落しの行事に800人の観客



花嫁の言葉

祝徳地町町民体育館落成



▲県警音楽隊の演奏とカラーガードによる歌



▲岡本しょうじさんの熱唱



▲正司歌江氏の講演

「明日に生きる～人と人・心と心のふれあい」



お礼

徳地町町民体育館の施設設備に対し、広く募金活動を展開して皆様のご支援を仰ぎましたところ、早速、深いご理解とご協力を賜り各方面から多額のご寄付をいただきました。誠に感謝にたえません。おかげをもちまして徳地町にふさわしい立派な緞帳施設等が完成しました。

徳地町長 井上平司
徳地町町民体育館施設
設備実行委員会

皆様方のご厚志に対し紙上をお借りいたしました深くお礼申し上げます。

学校教育だより

昭和57年度

へき地集合学習

大きな成果をあげて終了

お別れ遠足

く長者ヶ原グリーン
スポーツ広場で

晴天に恵まれた三月十一日(金)、本年度最後の集合学習(お別れ遠足)を長者ヶ原グリーンスポーツ広場で行いました。五校の児童百四十五人が八つの班に分かれて、長者ヶ原入口から徒歩で広場まで登り、ゲームをしたり、アスレチックを利用しての体力づくり、宝さがし、フオークダンスなど楽しい活動を行いました。

最後に本年度の集合学習(研究会を含め年間九回実施)の修業式を行いました。次の文はその時に代表が発表したものです。

お礼の言葉

六年生のみなさん、今日が最後の集合学習でした。

今日一日、フオークダンス、アスレチックなど楽しいことがたくさんあっただろうと思います。フオークダンスはみんなでおどったり、とても楽しい一日でした。また、今までのことを思い出すと、小運動会や宿泊訓練、おみこし作りなど、六年生がリーダーに

なつてこれられ、私たちのためにいろいろと教え導いてくださり、ほんとうにありがとうございます。私たちももうすぐ六年生です。六年生の皆さんがお世話してこられた事をもとに、りっぱな集合学習ができるように、みんなが仲よく力いっぱいがんばりたいと思います。六年生の皆さんはもうすぐ卒業です。りっぱな中学生となつてくださることをいのつています。

在校生代表

申小 五年 河村美沙子

お別れの言葉

下学年のみなさん、こんな楽しいお別れ会をしてくれてありがとうございます。この一年の行事の中でとても楽しい、うれしい思い出です。こんなにみんなのプレゼントはありますか。六年生全員はこんなすばらしいプレゼントのお礼

に、正しく、思いやりのある中学生になり、立派な中学校生活をしていきたいと思えます。先生方、今までたいへんお世話になりました。先生方のおかげで大勢の友達と話し、遊ぶことができました。みなさんも、これからお兄さんお姉さんの言われることをよく聞いて、ますます立派な集合学習にしてください。本当にありがとうございます。

六年生代表

引谷小 原田和美

この四月からは第三年次の学習に入りますが、年間八回の実施を予定し、先生方もすでに綿密な計画を立てて今から意欲を燃やしております。

徳地ふるさと

学習の紹介6

くすのき 楠まつり

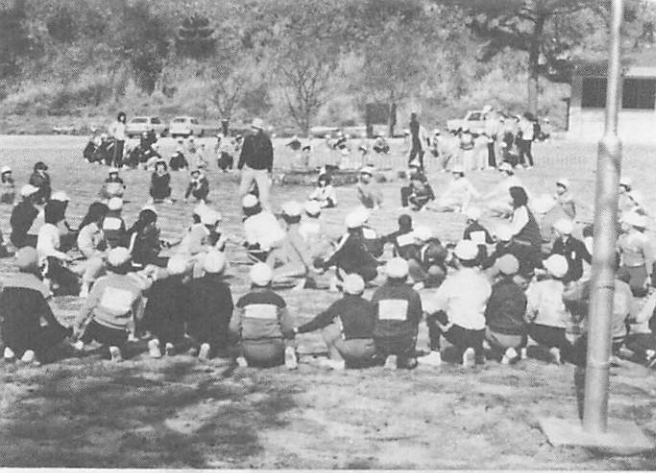
八坂小学校の実践

八坂小学校の校庭には七本の大きなくすの木があります。八坂小学校では、このくすの木に働きかけくすの木から学びとることを柱にしてふるさと学習の展開をしています。

具体的には四年生以上のクラブ活動で八坂の文化・自然を探究しそれを発表するという学習を行いました。二月二十七日(日)はその一年間の学習成果を「楠まつり」として地域やPTAの方々にも発表しました。

そのプログラムのうちに、元八坂村村長を務められた山本重政さん(八四歳)を講師に迎え、八坂小の校庭にくすの木が植えられた当時(今から七十二年前)のようすを児童に分かりやすく話していただきました。

当時の先生方が、くすの木を植えるとき、児童に「念を入れて大きい穴を掘れ」と指示されたが、これは「大きい穴を掘って、木をしっかりとめて、根がよくつくように植えよ」という意味であったと当時のようすを目の当たりに見るように話をいただきました。このほか、劇、物語の暗唱、研究発表(妙見社の歴史、植物の分布などのふるさと探究の結果)鼓笛の演奏など内容の多い充実した発表会となりました。



→ それ行け



← よい気をつけて
足元に



写真だより

↓ 栄養改善推進員30人が誕生

昨年4月に開講した栄養教室が、10回の講座を終り3月10日山村開発センターで終了式が行われました。新しく誕生した30人の栄養改善推進員の活躍が期待されます。



↓ 6年生を送る会

3月27日、町内の小学校の児童たち140人が参加して、町民体育館を主会場に「6年生を送る会」が開催されました。この会は、徳地町子供会育成連絡協議会の主催で行われ、体育館ではインディアカとバトミントン、中央小グラウンドではソフトボールをみんなで楽しみました。

▼ インディアカを楽しむ子供たち



⇐ 中国自動車道全線開通を

祝って記念品を贈呈

3月24日、中国自動車道の全線開通を祝って、徳地インターチェンジ料金所付近で、徳地町・防府市の両観光協会の人たちが、地元のパールを兼ねて通過する車の人に記念品を配りました。

◀ 通る車に記念品を渡す観光協会の人たち



▲ 完成した堀中学校舎

⇕ 堀中学校校舎が完成

昨年7月から建設中の堀中学校校舎が完成し、2月27日に多数の来賓を迎え盛大に完成式が行われました。式後、中学生も参加してグラウンドでもちまきをし新校舎の完成を祝いました。



▲ お祝いと激励の言葉を送る井上町長

⇕ 母子家庭の入学・卒業児童を激励

3月13日、長寿苑で母子家庭の親子約30人が参加して、第1回母子家庭等入学卒業児童お祝会が、母子寡婦福祉連合会が中心となって開催されました。お祝会は、藤本会長、井上町長、松本民生児童委員総務から、「入学する人も、卒業する人も、しっかりがんばってください」などと激励を受け、続いてお祝いの品をもらったり、ジュニアリーダーとして活躍している高校生や中学生5人のリードで、みんながいっしょになってゲームをするなど楽しい一日を過ごしました。

お気軽にご相談ください

新行政相談員に
原田陽市さん

長年、行政相談員として、行政相談業務にあたってこられました牛見頼人さんに代わって、昭和五十八年四月一日から、
原田陽市さん 新田上
☎210360
が新しく行政相談員になられました。

行政相談員は、行政管理庁長官から委嘱を受け、役所に対しての相談相手となって手続きを教示したり、相談の内容を国や県、市町村に通知または、連絡して、問題の解決にあたっています。

役所の仕事について相談(照会、苦情、その他)のある人は、ご遠慮なくご相談ください。

なお、相談は無料でご希望により秘密は守られます。

人権擁護委員制度を

ご存知ですか

昭和二十四年六月一日に人権擁護委員法が施行され、国民の基本的人権を擁護し見守る、いわば民間人による人権の番人の機関が誕生したのです。これが人権擁護委員による人権擁護委員制度の始まりです。

今年は、国連で世界人権宣言が採択されて三十五周年に当たりますので、これを記念して全国の人権擁護委員は、「人権擁護委員の日」を中心としてみなさんとともに、一層の人権思想の啓発に努め

ることを申し合わせております。徳地町には、次の三人が町長から推薦されて、人権擁護委員として委嘱されています。

相談は無料で、秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

人権擁護委員

- 牛見 好さん 山畑(☎410204)
- 伊藤利幸さん 野谷(☎810233)
- 松本芳雄さん 岸見(☎211209)



▲熱戦を展開する小学生女子バレーボール

社会教育だより

ちびっ子バレーボール

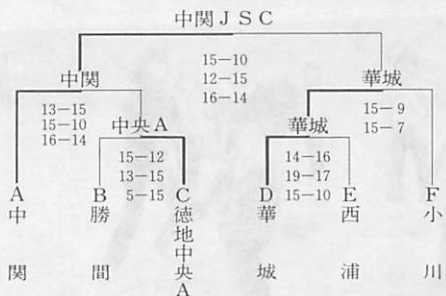
徳地町近郊小学生
女子バレーボール大会開催

第四回徳地町近郊バレーボール大会が三月六日、佐波高・堀中・中央小・島地小・八坂小の各体育館を会場として三十六チームが参加して熱戦を展開しました。

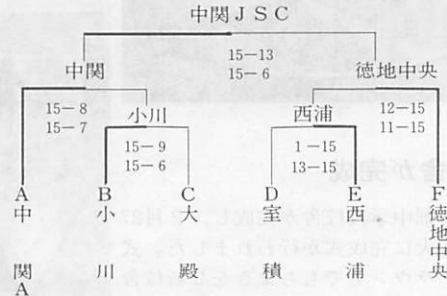
今回から徳地町スポーツ少年団育成会連合会が主催になり、一層盛会になりました。町内からは八坂スポーツ少年団・中央スポーツ少年団・島地スポーツ少年団がそれぞれ活躍しました。

結果は次のとおりです。

新人戦の部 (決勝トーナメントのみ)



6年生の部



佐波郡連合婦人会の
総会終わる

婦人の声を社会に生かそう

婦人週間 4月10日~16日

婦人週間のテーマ

- ♥ 社会生活における諸活動の政策・方針の決定に、婦人の意見をさらに反映させましょう。
- ♥ 家庭生活への男性の理解と関心をさらに高めましょう。

昭和五十七年度婦人会の総会が三月二十四日、山村開発センターで開催されました。

総会は、昭和五十七年度事業および会計報告が、さらに昭和五十八年度事業計画および予算について承認されたほか、役員改選が行われました。

昭和五十八年度役員(敬称略)

会長 澄田茂子(上村)

副会長 宮崎徳子(堀)・岸田百合子(藤木)・家本初枝(三谷)・伊藤澄子(柚木)・大林ヒロ子(上角)

コーナー
保健婦

楽しく健康的な運動を

老人保健法が二月一日から実施されました。法律の名前に、少し異和感を持たれるかもしれませんが、健康づくりの主役はあなたなのです。人ごとと思っていないで、あなたも毎日の生活の中に、楽しくできる運動の習慣を身に付けてはいかがでしょうか。

健康づくりのためにする運動は、決して仕事をしているからしなくてもいい、というものではありません。仕事は、身体の一部しか

使っていません。日ごろ使っていない筋肉や関節は、しつかり動かしましょう。

- 1 最初は軽いものから少しずつ強さを増していく。いきなり激しい運動はしないように。
- 2 始める前と後には、必ず、準備体操と整理体操を行う。
- 3 運動量は、自分のペースに合わせて、軽く汗ばむ程度のものである。1時間が短かすぎて効果はない。
- 4 運動は、継続して行う。そのため、無理なスケジュールはたてない。
- 5 途中で足が痛くなったり、軽い障害が起きたら、運動量を半分減らしてようすをみましょう。
- 6 健康にあまり自信のない人や中高年の人は、運動を始める前に、必ず医師に相談しましょう。

ている人は、老化を遅らすことにもつながり、いつまでも若々しく健康で過ごすことができます。さあ、あなたも長続きできる運動を始めましょう。



メモ一口

保険税のおはなし

(その1)

国民健康保険は、市町村ごとに運営されています。例えば、徳地町がひとつの家庭で、皆さんは家族の一員ということとで考えてみましょう。家族のどれかがムダ使いをすれば家計は苦しくなります。つまり、医療費を家計の支出とし、保険税を家計の収入とすれば、支出(医療費)が増えれば、それに見合っ

がどのくらい必要かを予測し、それに応じて決められます。そのうち国の負担、約四五パーセントを除いた約二五パーセントを保険税として、各世帯に割り当てることとなります。課税は、各世帯の被保険者や前年度の所得などを基準に決められます。昭和五十八年度の保険税最高限度額は、二十八万円です。(予定)



- ※課税額の決め方
- 各世帯の保険税の額は、次のようなものを基礎として決定されます。
- ① 平等割額 各世帯に均一の額
 - ② 均等割額 各世帯の被保険者数に応じて、一人当たりいくらかと計算した額
 - ③ 所得割額 前年度の収入から一定額を控除し、その額に一定率を掛けた額
 - ④ 資産割額 その年の固定資産税に、一定率をかけた額
- なお、詳しくお知りになりたい人は、役場保健係(有線2341)または課税係(有線2271)までどうぞ。
- 来月は、税をだれが払うのか、いつから払うのか、納め方についてお話しします。

健康づくり第12号クイズ当選者発表

ご応募ありがとうございました。37人の応募があり、正解者30人でした。抽選の結果、次の3人の方が当選と決まりました。(敬称略)

奥谷 原 勇 (65歳) 西村 井原トモエ (53歳) 下串 藤本千代子 (61歳)

※クイズの正解(問題は健康づくり第12号をご覧ください。)

問1...① 問2...② 問3...⑥ 問4,5...①④または①⑤

投稿をお待ちしています

広報とくちで、皆さんの楽しいグループのようすを紹介します。

投稿のしかた

- 健全なグループが対象です
- グループ活動の写真一枚と、グループのリーダー、活動の内容、エピソードなどを三百字以内にとめてお寄せください。
- ☑送り先 町役場企画室広報係

なお、一度に多数の投稿があった場合は、先着順に掲載させていただきます。



農業改良普及所 徳地支所が 統合されます

県の機構改革で普及所の統合が行われることになりました。

これは、社会情勢の変化とともに農業事情も変わり、普及事業も技術を主体とした指導から、地域農業全般にわたる総合的な指導が必要となってきました。これに伴って普及指導体制の再編整備が行われ「地域分担体制の強化」「技術指導の強化」「情報機能の強化および補助事業への対応」など、より濃密な総合指導体制が打ち立てられることになっております。

統合による本町の対応としては、今までの徳地支所の事務所を引き続き拠点基地として、指導にあたっていただくこととし、農家の皆様に、今までより不便とならぬよう配慮しているところです。

なお、普及所に対する要請などは、防府農業改良普及所(防府市駅南町一三〇四)・防府3810505)・徳地町役場経済課(211111)・徳地町農業協同組合(210088)へお申し出ください。

家畜診療所を 開設します

開設します

昭和五十八年四月から、徳地町、徳地町農業協同組合、佐波農業共済組合の三者で、次のとおり家畜診療所を開設することになりました。お気軽にご利用ください。

■診療開始日

昭和五十八年四月一日

■診療所の名称

徳地町家畜診療所

■場所

徳地町大字堀 徳地町農業協同組合内(210088・有線2090)

■獣医師名

藤井茂男

山口県立中央病院の 開院と休診

開院と休診

防府市大崎地内に建設中の山口県立中央病院が完成し、五月二日(月)から新病院で診療を開始します。

また、新病院への移転および入院患者移送のため、次のとおり休診等をいたします。

■休診 四月二十四日(日)から五月一日(日)までの間外来診を休診します。

■手術、入院等の制限 四月一日

(金)から五月一日(日)まで一部制限します。

■急患の診療 四月十五日(金)から二十九日(金)までの間急患の診療を中止します。

(四月三十日午前八時三十分から、新病院で急患の診療を開始します。)

なお、詳しくは、県立中央病院事務局(防府221190)にお尋ねください。

県統計協会会員の 募集

募集

山口県統計協会では、昭和五十八年度の「特別会員」「月報購読会員」を募集しています。

■特別会員 会費(年額)：学校会員五千円・一般会員七千円

特別会員には、山口統計年鑑、山口県勢要覧、月報、統計普及冊子をそれぞれ一冊無償頒布します。

■月報購読会員 会費(年額)：三千円

月報購読会員には、月報「県勢やまぐち」を毎月一冊無償頒布します。

■その他 無償頒布資料以外の統計図書資料で購入を希望される場合は、有償で頒布します。

■申し込み締め切り

昭和五十八年四月二十日

■問い合わせ・申し込み先

山口県統計協会 〒753 山口市滝町一― 山口県統計課内

和裁(初級)

技能講習会

山口県婦人就業センター

■対象者 和裁の技能を修得して就業を希望される婦人

■定員 十五人(定員オーバーのときは抽選にします)

■講習日時 五月十日から九月二十九日(三十日間)まで、毎週火・木曜日九時から十五時まで(引き続き中級の講習を行います)

■受講料 無料(ただし、テキスト、教具教材は自己負担)

■講習場所 防府市駅通り長宗ビル四階西村服装技術学園

■申し込み・問い合わせ

昭和五十八年四月五日から四月二十日までに、所定の申込書を提出してください。

○防府市役所商工観光課 (2312111)

○徳地町役場経済課商工観光係 (有線23551)

私立高等学校の 授業料・入学時 納付金軽減制度 があります

山口県では、私立高校生の教育費負担を軽減するため、関係学校法人に対して補助金を交付しています。

学校では、この制度に基づいて授業料・入学時納付金を軽減します。

対象となる人は、市町村民税所得割額が課税されないもの、生活保護を受けているもの、交通遺児、その他特別の事情により就学が困難となった人などが対象とされますが、なお手続きその他詳細は、各学校にお尋ねください。

■受付期間

一回目 四月三十日まで

二回目 七月九日まで

二協力ください

ツルの渡る経路を 調べています

日本野鳥の会とKRY(ラジオ山口)が、八代のナベツルの渡りの経路を調べています。経路は、熊毛郡八代から豊北町角島附近へ渡ります。途中徳地町の上空を通過して行くものと思われ、ナベツルの渡って行くところを見られた人は、ぜひお知らせください。

■連絡先

屋敷 山根政登さん (2610126)

おことわり

休日在宅医の掲載は、つぎにより休ませていただきます。

予防接種と健康診査

三種混合(ジフテリア・百日ぜき・破傷風)

- 対象者** 第1期 生後24ヵ月(2歳)～48ヵ月(4歳)の人
 第2期 第1期完了後12ヵ月～18ヵ月の人(ただし生後5歳6ヵ月まで受けられます)
- 注意** ○第1期では毎月1回ずつ3回の注射を受けないと終わったことになりません。
 ○第2期はいずれかの月に1回受けてください。
 ○健康状態の不安な場合は、医師または衛生係へご相談ください。
 ○当日は体温を測り、印鑑・母子手帳をご持参のうえ事情のよく分かる保護者が同行してください。
 ○第1期を2回以上注射を受けている場合は、第2期を受けてください。

日程

実施月日			時間	会場
4/14	5/20	6/20	9:00～9:30	柚野支所
(木)	(金)	(月)	10:00～11:00	八坂支所
4/15	5/23	6/21	9:30～10:00	串支所
(金)	(月)	(火)	10:30～11:00	島地支所
			13:00～14:00	山村開発センター

妊婦教室

健やかな赤ちゃんは、健康なお母さんから生まれます。お話を聞いたり、実際に身体を動かしたりして、いっしょに勉強しませんか。

妊婦さんや、そのご家族の方、新婚の方、お気軽にご参加ください。日程は下記のとおりです。

◆ところ 山村開発センター ◆料金 無料 ◆持参品 筆記用具、エプロン、スラックス、妊婦さんは母子手帳を持参してください。

開催日	9:00	10:00	11:00	12:00	特に用意するもの
4月18日(月)	開講式	自己紹介	スライド「妊娠中の生活」	妊婦のころえ(お話)	
4月20日(水)	映画「すばらしい母乳」	妊娠中の栄養(お話)	調理実習		エプロン 米1合
4月22日(金)	お産の経過と産後の生活(お話)		映画「すばらしい出産」	妊産婦体操(実習)	座談会 スラックス
4月25日(月)	赤ちゃんをすこやかに育てるために(お話)		赤ちゃんのおふろ(お話と実習)	赤ちゃん体操(お話と見学)	エプロン 反省会

小児マヒ生ワクチンの実施

- 対象者** 生後3ヵ月以上48ヵ月までの人で2回投与が済んでいない人
- 注意** ○予防接種個人問診票をよく読んで切り離さずに、母子手帳、印鑑とともにご持参ください。
 ○当日は体温を測り、問診票の間で「ある」にまるのつく場合は、かかりつけの医師か衛生係へご相談ください。(有線2341)

日程

実施月日	会場	時間
4/21(木)	柚野支所	9:30～9:45
	八坂支所	10:15～11:00
4/22(金)	串支所	10:00～10:20
	島地支所	10:40～11:10
	山村開発センター	13:00～13:45
4/26(火)	山村開発センター	13:30～14:00

1歳6ヵ月児健康診査

日時 4月28日(木) 午後1時～午後2時

ところ 山村開発センター

対象児 昭和56年7月21日～同年10月28日までに生まれた人

持参品 母子手帳、1歳6ヵ月健康診査票、尿

※ 対象児には個人通知しますが、通知もれがあったときは、衛生係へご連絡ください。

雇用相談室の状況

求人求職状況

(防府公共職業安定所 58年2月分)

職種別	男		女	
	求人	求職	求人	求職
事務	6(1)	18	30(4)	80
技能者	38	26	47	18
運転手	62(4)	34	35	9
営業	65	16	単純労働	31(2)
単純労働	34(6)	51	営業	21
販売	6	2	その他	9
その他	17	22		38
計	228(11)	169	計	173(6)

(注) ()内は徳地町内分で内数です。

徳山職業安定所よりの求人等もあります。希望者は町役場経済課商工観光係へ(有2351)



こんな看板が立つなんて
はずかしいとは思いませんか！

町内月間行事予定

4月10日	県議会議員選挙投票日 7:00~18:00 各投票所	22日	妊婦教室 9:00~12:00 山村 開発センター
11日	盆栽活動 9:00~15:00 旧堀保育園	23日	不在者投票締め切り
12日	母子推進研修会 9:00~13:00 山村開発センター	24日	町議会議員選挙投票日 7:00~18:00 各投票所
14日	三種混合 9:00~11:00 柚野・八坂支所	25日	妊婦教室 9:00~12:00 山村 開発センター
15日	心配ごと相談 10:00~15:00 旧中央公民館	26日	心配ごと相談 10:00~15:00 柚野公民館
17日	町議会議員選挙告示(不在者 投票開始)	27日	盆栽活動 9:00~15:00 八坂 公民館
18日	妊婦教室 9:00~12:00 山村 開発センター	28日	生ワケ投与 13:30~14:00 山村開発センター
20日	盆栽活動 9:00~15:00 柚木 老人憩の家	5月6日	栄養改善推進協議会総会 9:00~14:00 山村開発センタ ー
21日	妊婦教室 9:00~12:00 山村 開発センター	9日	1歳6ヵ月児健康診査 13:00~14:00 山村開発セン ター
22日	生ワケ投与 9:00~11:00 柚 野・八坂支所		13:30~15:00 島地 公民館
	生ワケ投与 10:00~13:45串 ・島地支所・山村開発センタ ー		盆栽活動 9:00~15:00 島地 公民館

善意

銀行

銀行銀行銀行銀行銀行
銀行銀行銀行銀行銀行
銀行銀行銀行銀行銀行
銀行銀行銀行銀行銀行
銀行銀行銀行銀行銀行
銀行銀行銀行銀行銀行
銀行銀行銀行銀行銀行
銀行銀行銀行銀行銀行

- 善典返しの一部として
- ▼二万円 古森 井原信義さんより
(故) 御尊父 一馬さん
- ▼五万円 下八坂下 山田實雄さんより
(故) 御母堂 スイさん
- ▼三万円 堀 片山省一さんより
(故) 御尊父 庄八さん
- ▼一万円 下八坂下 水津百合子さんより
(故) 御主人 勝利さん
- ▼三万円 奈良原 田戸定文さんより
(故) 御母堂 ヒデさん
- ▼三万円 国木 北川延寿さんより
(故) 御尊父 政市さん
- ▼五万円 上庄方 有近尚寛さんより
(故) 御祖父 律夫さん
- ▼三万円 川上 斉藤清隆さんより
(故) 御母堂 タケヨさん
- ▼二万円 才契 蔵田時男さんより
(故) 御尊父 國一さん
- 寄付 七千円
匿名さんより
(救急車出動のお礼として)
ありがとうございます。社会

福祉事業のため役だたせていただき
ます。

◆ ◆ ◆

■ 指定寄付
▼三十万円(図書購入の一助に)
岸見 徳地産業株式会社(取
締役社長三浦義孝氏)より
(工場の完成と操業開始を記念
して)

ありがとうございます。町立
図書館の蔵書として広く町民の皆
さんに利用していただきます。



町の人口

(2月末日現在)	前月対比
世帯数 3,312世帯	-2世帯
人口 11,407人	±0人
男 5,538人	+5人
女 5,869人	-5人
自然増減 -7人(出生6人 死亡13人)	
社会増減 +7人(転入24人 転出17人)	

資料……住民基本台帳調べ

文芸

三七四号より

大 中 祥生 選

赤木玉汀

単とり沈めて昏き寒の水

春立つや枕のものと千羽鶴

角曲る毎に骨身に戻り寒

佐藤 夕 吉

主井 青城子 選

赤木玉汀

目に見えぬ雨来ては去る花山葵

軒水柱斜となりて風通す

森氏 亜 黄

笹鳴や残る一戸に男児生る

過古の罪流す心地に大根を寒の水
にてま白に洗ふ

佐古 安子

すこやかに年越なして松の内あけ
たる今朝は地下足袋をはく

藤田 高枝

「姑さんに合いますか知ら」と嫁
の作る御節は少し洋風もあり

赤木 大

紗のごとき雨来ては去る山葵田の
水漏れ防く櫓の枝を打つ

滝田 雅子

やうやくにふくらみ初めし梅の枝
に無心の雪は音なく積る

田中 滝夫

その昔父も叔父も炭焼きし山のそ
びらを縦貫道走る

さなみ短歌会

三月号より

田中 玉恵 選

原田 沢江